



# インターフェース サービスマニュアル

## 【 CANcardXL の手動インストール方法 】

---

**ベクター・ジャパン株式会社**

〒140-0002 東京都品川区東品川 2-2-20

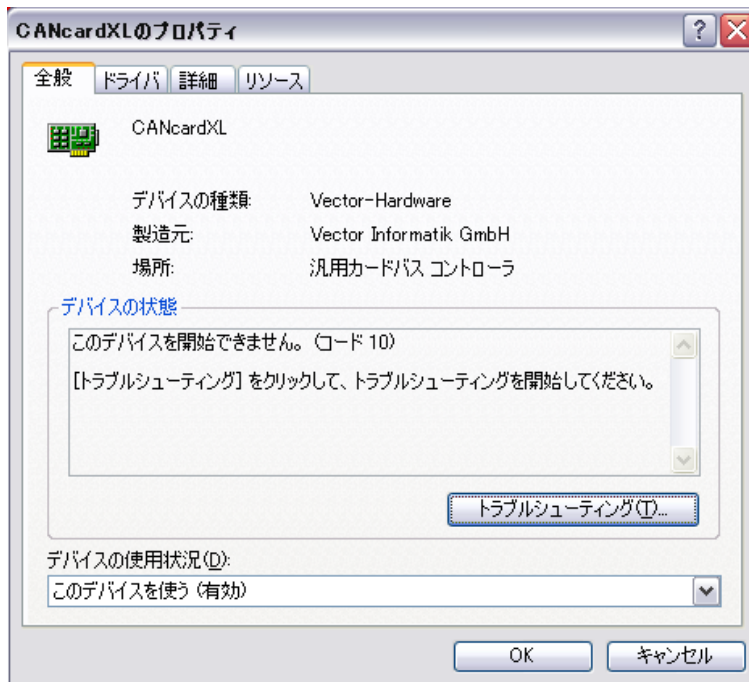
天王洲郵船ビル 16F

TEL: 03-5769-7800 (代) FAX: 03-5769-6975

<http://www.vector-japan.co.jp/>

## 【現象】

CANcardXL のドライバーをインストールしたにもかかわらず、PC で正常に認識できない。  
デバイスマネージャで確認すると下図の様に(コード 10)が表示される。



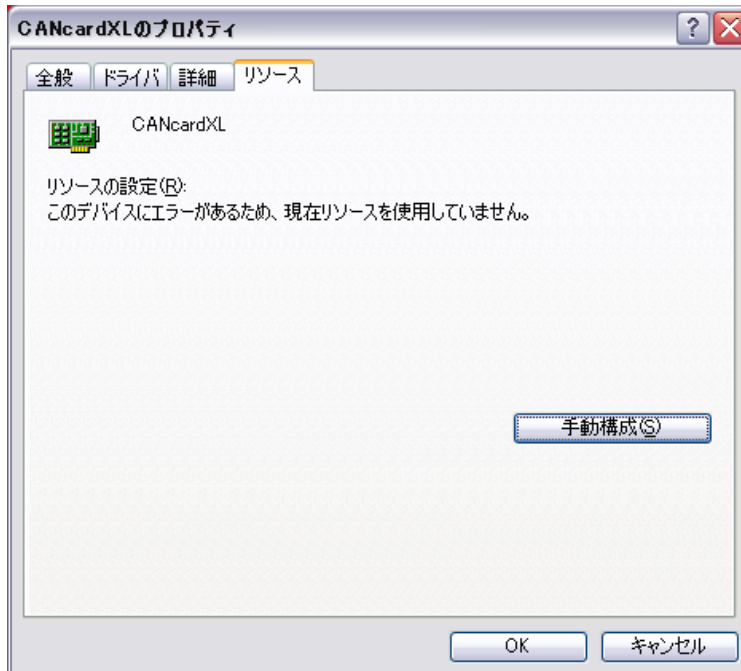
## 【原因】

CANcardXL で使用するメモリの領域が既に他のデバイスで使用されている、もしくは、利用できないため、正常に認識することが出来ない。

## 【対処方法】

以下の手順にて競合するデバイスを『競合なし』になるよう手動で設定します。

手順① デバイスマネージャから CANcardXL のプロパティを開き、[リソース]タブに移動します。



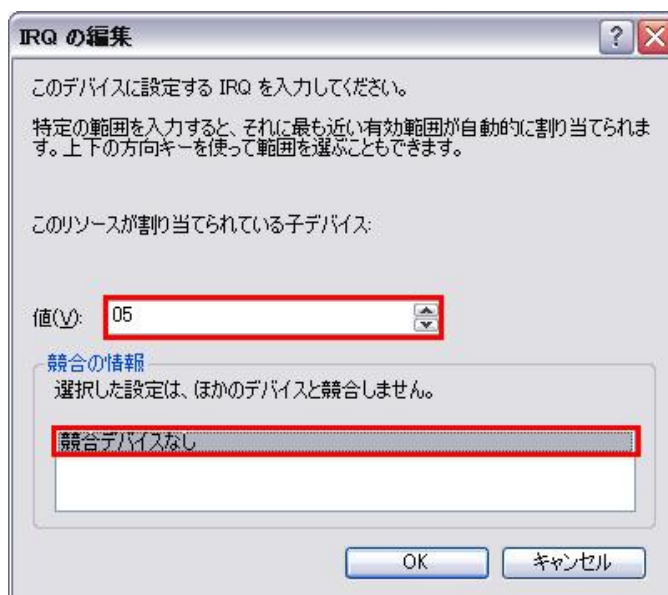
手順② [手動構成]をクリックし、リソースの設定画面を表示します。



手順③ [自動設定](下図①)のチェックを外し、[IRQ](下図②)を選択した状態で [設定の変更](下図③)をクリックします。



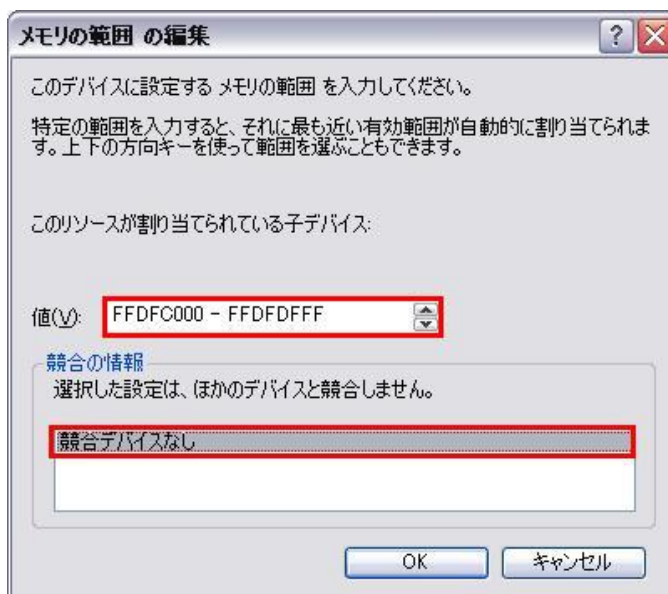
手順④ 値を上下させて[競合デバイスなし]になるよう設定し、[OK]を押下します。  
(空きIRQを見つける方法は巻末の【補足 1】をご参照下さい)



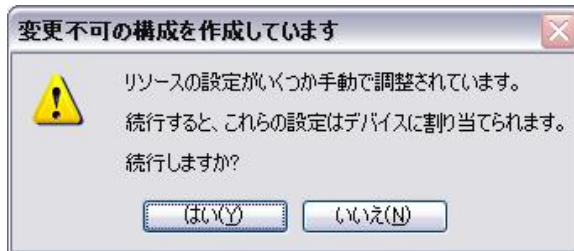
手順⑤ [メモリの範囲](下図①)を選択した状態で[設定の変更](下図②)をクリックします。



手順⑥ 値を上下させて[競合デバイスなし]になるよう設定し、[OK]を押下します。  
(空きメモリを見つける方法は巻末の【補足1】をご参照下さい)



手順⑦ 前の画面に戻り、再度[OK]を押すと以下の様に聞かれるので[はい]を押下します。

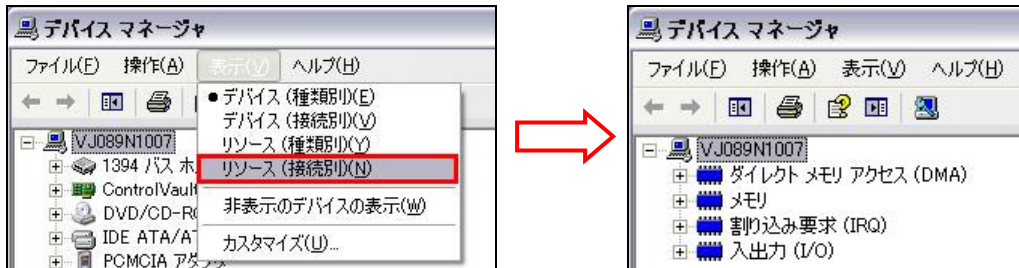


手順⑧ PC を再起動させ、デバイスマネージャで正常に認識しているかをご確認下さい。



## 【補足1】空き IRQ、空きメモリを見つける方法

デバイスマネージャの[表示]から[リソース(接続別)]を選択します。



空き IRQ を見つける場合は[割り込み要求(IRQ)]を展開し、空き IRQ を見つけます。

空きメモリを見つめる場合は[メモリ]を展開し、空きメモリを見つめます。

[割り込み要求(IRQ)展開図]



[メモリ展開図]



## 【補足2】本現象が確認された PC のモデルと参考値

### 『PC のモデル』

- ・TOSHIBA dynabook R731
- ・TOSHIBA Satellite B551
- ※ OS: Windows XP (Windows 7 からダウングレード)

### 『参考値』

IRQ … 05

メモリの範囲 … CC109000 – CC10AFFF

### 『参考図』

